

腎移植外来を開設

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)は8月、専門外来「腎移植外来」を開設した。西胆振管内唯一の腎移植認定医で、泌尿器科の前鼻健志主任医長(37)が担当する。診察は20日から始めており、前鼻主任医長は「慢性腎臓病患者への腎移植医療の情報提供、腎移植後のフォローアップなどを通じて、地域医療に貢献したい」と話す。

慢性腎臓病は、初期には自覚症状がほとんど無いが、進行すると夜間尿やむくみ、貧血、倦怠感、息切れなどの症状が現れる。さ

前鼻主任医長「気軽に相談して」

らに悪化すると、血液の透析療法や、腎移植が必要となる。

腎移植を選択した西胆振管内の患者は、札幌市内の病院で移植を受けることが大半だ。ただ、生体腎移植では、患者だけでなく家族

製鉄記念室蘭病院

などの提供者についても、検査などで何度も病院に足を運ぶ。さらに、腎移植を終えた患者には、拒絶反応を抑える治療や、移植した腎臓が正常に機能しているかなどを確認するため、2〜4週間に1回ほど、札幌

への通院も必要だ。

前鼻主任医長は、札幌大や市立札幌病院などで、100例以上の腎移植に携わってきた。こうした西胆振管内の現状を受け、「移植前後の患者さんの負担軽減につなげるだけでなく、医師に気軽に相談できる環境整備が必要」と判断。今年4月の赴任後、専門外来の開設準備を進めていた。

腎移植外来では、透析療法を始めるまでの状態(保存期腎不全)や透析療法中の患者に対する腎移植医療の情報提供、移植後の投薬管理や検査、精神的なケアなどを行う考え。前鼻主任医長は「患者さんの選択肢を広げる意味からも、西胆振管内での腎移植の普及に努めたい」と話す。

「腎移植医療の情報提供や腎移植後のフォローアップなどを通じて、地域医療に貢献したい」と話す前鼻主任医長



診察日は毎月第3月曜日の午後。前鼻主任医長が泌尿器科外来を担当する毎週火、金曜日の午前と水曜日の午後についても対応する。同病院地域医療連携課を経由した予約と、受診時は家族の同伴が必要。問い合わせは同課、電話0143・47局4304番へ。

(松岡秀宜)